

株式会社 松屋 2015年10月上報告

1. 店舗別 売上高概況

(単位:%)

	売上高	入店客数
① 銀座本店	16.4	7.4
② 銀座店	18.2	9.7
③ 浅草店	-4.3	3.6

① 銀座本店 : 「銀座本店」の数値は「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ② 銀座店 : 「銀座店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ③ 浅草店 : 「浅草店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。

2. 売上高対前年増減率推移

(単位:%)

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
銀座本店	9.0	7.4	6.7	16.6	-6.0	40.8	27.8	26.8	29.1	35.2	20.2	16.4
松屋銀座	10.9	8.8	7.6	17.9	-4.8	44.7	30.4	29.8	32.9	39.5	22.0	18.2
松屋浅草	-7.2	-5.8	-2.7	1.1	-17.5	3.3	0.2	0.1	-5.6	-5.0	-0.2	-4.3

3. 店舗別商況

銀座店	年1回の紳士スーツ・雑貨の催事『「銀座の男」市』が開催され、「丸縫い既製スーツ」などの展開を中心に好評を博し、全店の売上向上に寄与いたしました。また、下旬には「GINZA FASHION WEEK」を開催し、銀座の街全体を盛り上げました。婦人部門は衣料品ではジャケットやニット、雑貨では防寒用のファーなどが好調に推移しております。紳士部門もジャケットやアウターに加え防寒用のマフラーや手袋が動いています。免税対象売上につきましてはインターナショナルブランドや化粧品、時計が引き続き売上を牽引。免税対象品目拡大から一年を経た消耗品の売上も、前年を大きく上回る売上で推移しております。
浅草店	主力の惣菜や和洋菓子、化粧品が好調も、生鮮三品や衣料品が不調で前年を下回る結果となりました。

4. 商品別売上高対前年増減率

(単位:%)

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	-2.1	-2.1
婦人服・洋品	9.1	10.5
子供服・洋品	28.0	28.0
呉服寝具他	-0.6	1.2
衣料品計	6.2	7.0
身廻り品	34.4	34.2
雑貨	41.0	44.5
家具	16.8	17.1
家電	-4.2	-4.2
家庭用品	19.4	19.3
家庭用品計	16.9	17.0
食料品	3.9	5.5
食堂・喫茶	5.6	5.6
サービス、その他	-5.1	-4.2
合計	16.4	18.2

商品別概況(銀座店)

- ・紳士服・洋品は、アウター、シャツ、タイが好調に推移するも、ニットが不調で全体を押し下げました。
- ・婦人服・洋品は、ニット、ジャケットを中心に、防寒商材が好調に推移いたしました。
- ・子供服・洋品は、子供服を中心に全体的に好調に推移いたしました。
- ・その他衣料品は、おしゃれ着物が好調も、特選きもの・寝具が不調で全体を押し下げました。
- ・身廻り品は、ハンドバッグ・婦人アクセサリーが軸となり、売上を牽引いたしました。
- ・雑貨は、インバウンド需要も含め化粧品が全体を牽引、また時計・宝飾も堅調に売上を伸ばしました。
- ・家庭用品は、和・洋食器を中心に全体的に好調に推移いたしました。
- ・食料品は、和洋酒や和菓子を中心に全体的に好調に推移いたしました。

お問い合わせ先 株式会社 松屋 総務部 IR室
 TEL(03)3248-8311 / FAX(03)5550-9639